

様式第2号（第3条、第7条及び第8条関係）

事業実績書

令和3年3月31日

団体名 部落解放同盟綾部地区協議会

<p>事業の目的 (何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。)</p>	<p>○ 人々が互いの人権を認め合い、共生していく社会の実現を目指し、各種研究集会への参加や啓発活動の実施により人権問題の早期解決を図る。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>人権啓発推進事業</p>
<p>事業費 (市補助金)</p>	<p>2,016,000円 (2,016,000円)</p>
<p>補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるのか記入してください。)</p>	<p>○ 研修会や集会に参加する経費 ○ 学習会の開催経費 ○ 啓発活動に係る経費 ○ 学習資材の購入(書籍等) ○ 人権啓発推進に係る事務経費</p>
<p>事業実施日</p>	<p>令和2年4月1日～令和3年3月31日</p>
<p>事業実施場所</p>	<p>綾部市内及び市外</p>
<p>事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)</p>	<p>○ あらゆる差別撤廃のため、他団体と連携をとりながら、諸活動を実施した。 ・各種研究集会への参加 令和2年7月18日第67回京都府定期大会 令和2年10月24日第67期解放学校 令和2年12月9日差別撤廃確立要求京都集会 令和2年17～18日第35回人権啓発研究集会コロナ禍の中初のオンライン開催 支部員研修を開催し相互の学習、交流を図る</p>
<p>補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)</p>	<p>○ 各種研究集会等に参加し、差別の現実や課題を学ぶことで、人権啓発のためのリーダーを養成することができた。 ○ 各集会を市内外の各団体と連携し、人権啓発推進を進めることができた。 ○ コロナ禍の中学習会等創意工夫をしました、違う形の人権侵害を学べた。</p>

様式第4号 (第3条及び第7条関係)

収支計算書

令和3年3月31日

団体名 部落解放同盟綾部地区協議会

(単位 円)

収入の部		区分	予算額	収入済額	明細
		市補助金	2,016,000	2,016,000	綾部市補助金
		合計	2,016,000	2,016,000	
支出の部		区分	予算額	支出済額	明細
		中央活動費	540,000	523,900	企業連合会研修会 ・交通費、宿泊費、参加負担金等
		府内活動費	896,000	669,140	部落解放研究京都府集会、定期大会、女性部研修会・綾部地区協議会・交通費、バス借上料、高速道路通行料、参加負担金等
		啓発活動費	230,000	431,600	人権啓発研修会等
		事務局費	350,000	391,360	事務用品、通信運搬費、活動費等
		合計	2,016,000	2,016,000	
差引			0	0	